

### 議会運営委員会

開催日 平成18年12月11日

- 委員長 猪狩 新一郎
- 副委員長 松本 浩司
- 委員 中津 伸一
- 委員 塩田 史子
- 委員 渡邊 正俊

平成18年第4回定例会の日程および提出予定議案、陳情書等、地方自治法の一部改正にともなう議会会議規則・同委員会条例の改正、一般質問の方法について審議しました。



工事が進む男子寄宿舎建築現場

### 総務常任委員会

#### 地元商工業者の活用を要請

開催日 平成18年11月10日

- 委員長 司 範一郎
- 副委員長 松本 浩正
- 委員 鈴木 中猪坂
- 委員 鈴木 中猪坂
- 委員 鈴木 中猪坂

### 調査の結果

#### (1) 国際人育成支援事業

各工事とも10月中の天候不順により、当初計画より数日遅れていますが、今後、円滑な工事管理に努め、工期内完成に向け最善の努力をするとの報告を受けました。

また、JFAアカデミー福島から男子生徒の人員体制について、当初計画の最大80人から90人にするための修正案が提出されたため、設計変更にもなう請負契約の変更が必要である旨の説明を受けました。

なお、施業者に対して、再度



男子寄宿舎の現場視察（下北迫岩沢）

地元商工業者の活用を要請し、できるかぎり利用したいとの返答を得ました。

#### (2) 地域間・世代間交流と遊休地の利活用

広野町も国・県の動きに対応するために、「ふくしま定住・二地域居住拡大プロジェクト」事業に参加していますが、現在は情報を発信するための情報収集および調査を実施しているとの報告を受けました。

また、町有の遊休地については、すでに調査済みであり、今後、各関係機関等と協議しながら、具体的な施策について検討して行く旨の説明を受けました。

### 産業常任委員会

#### 豪雨被害は約3,500万円

開催日 平成18年11月15日

- 委員長 俊平 蔵長
- 副委員長 渡邊 新佐渡
- 委員 正良 栄久
- 委員 邊妻 川辺
- 委員 渡邊 新佐渡

### 調査の結果

#### (1) 平成18年度産米の生産目標

今後の本町農業の振興をはかるには、集落営農の推進も大きな課題ですが、環境や健康をキーワードにした新たな農業政策の必要性を強く認識しました。

また、広野産米のブランド化をはかる観点からも、特別栽培米の

#### (2) ニツ沼総合公園内直売所の開設

直売所の開設にあたっては、特定の生産者だけでなく、希望する多くの生産者が参加できるように配慮し、販売物の品質や鮮度の保持にも努めて運営するよう要望しました。



春に新装オープン予定の直売所（ニツ沼総合公園）

#### (3) 平成18年10月6日豪雨による災害

今年は雨が非常に多く、前回被災した箇所も復旧工事も完了していない状況ですが、今回の豪雨に

#### (4) 簡易水道、公共下水道、農業集落排水事業における使用料および受益者分担金の賦課徴収状況

今後徴収が見込めないものを不納欠損処理したい旨の説明を受けましたが、本人がすでに亡くなっている等、徴収が非常に困難な場合を除いては慎重に対処し、徴収事務にはさらに努力するよう要望しました。

また、上浅見川字南山と後山地区では、国土調査事務が終了したことにより、農業集落排水事業の受益者分担金等に変更が生じたことが報告されました。

#### (5) 平成18年度発注工事の進捗状況

すべて計画どおりの進捗状況です。

### 調査の結果

#### (1) 双葉地区教育構想

広野中学校における具体的な取り組み状況について説明を受け、すべての生徒がこの恩恵を享受できるようなきちんとした対応を取るよう要望しました。

現在、当町で実施しているサポートファミリーについては、来年度に入学するアカデミー生の受け入れが現状では困難な状況にあるため、サポートファミリーの増員が急務であるとの報告を受けました。

まだ始まって日も浅い事業であ

### 文教厚生常任委員会

#### サポートファミリーの増員が急務

開催日 平成18年11月13日

- 委員長 子徳 昭雄
- 副委員長 史政 紀利
- 委員 塩黒 田木 磯
- 委員 塩黒 田木 磯
- 委員 塩黒 田木 磯



JFAアカデミー生徒の稲刈り体験

#### (2) 後期高齢者医療制度

国は、医療制度の広域化、一本化に向けた動きの一貫として、平成20年度に独立した医療制度を創設することとし、平成18年度末までに都道府県の区域ごと全ての市町村が加入する広域連合を設立するとしています。

福島県内においても、全ての市町村によって福島県後期高齢者医療広域連合を設立し、後期高齢者医療制度を運営することになる旨の報告を受けました。